

令和元年度第6回企画展 「創職（ライフワーク）の世界Ⅲ」

川本 利恵*¹

はじめに

令和元（2019）年9月24日（火）から10月18日（金）の期間、第6回企画展「創職（ライフワーク）の世界Ⅲ」が開催された。

一昨年度、光塩会との共催で始まった「創職（ライフワーク）の世界」展の第3弾となる。「創職（ライフワーク）」とは、「創」（美の創造）と「職」（職人のように技術を追求する）を組み合わせ「ライフワーク」と読ませる造語である。数年間はこの企画を続けていく計画なので、タイトルも継続していくことになった。

1. 候補者の決定

昨年度に夏季休業明けから特別展までの期間に会期を移動したのだが、出品者の中にはこの展覧会から引き続き、KVA祭に展示することを希望されたため、今後この期間で固定することになった。4月12日（金）に光塩会の渉外担当西村厚子氏と今年度の候補者について打合せをした。昨年度のように、予定していた方が参加できなくなることも考慮し、少し多めに候補者を募っておくことで合意した。西村氏から6月以降担当が変わるとの申出があったが、新担当が決まるまで作者との直接の対応は西村氏に引き続き担当してもらうことになり、この後の連絡はメールで行うことになった。6月に入り、候補者がかな書の石川直子（書家名：石川朱玉）氏と陶芸家の矢島幸代氏の2名に絞られた。

西村氏より、千代田三番町キャンパスのローズ祭（大学祭）に新担当者が参加されるとの連絡があり、6月16日（日）に光塩会の割当教室へ行き、新担当の中田三津子氏にごあいさつをした。その教室には会員の方々の様々な作品が飾られており、中でも白地の布に白糸で刺繍した作品に目が止まった。それらは刺繍作家として活躍する相宮慧子氏を講師とした白糸刺繍同

好会の作品だった。これも展示させてもらえないかと打診したところ、了承を得たので、2名と1団体の参加が決定した。

2. 印刷物

昨年のチラシは業者には依頼せず自作したのだが、今回も同形式で作成し、A4判の表に出品作品の写真（写真1）を入れ、裏に資料リスト（写真2）を入れた。チラシを印刷するにあたっては、淡いピンク色の紙を使用した。

ポスターの代わりにチラシの表紙を大判コピー機で印刷し、入口の扉やボードにはり、A4・A3判で印刷したものを校内の掲示板に貼って学内者へ向けての広報とした。



写真1 チラシ表

*川本 利恵（かわもと りえ）令和元年度生活文化博物館学芸員

このたびは生活文化博物館では、東京家政学院大学同窓会「友誼会」の協賛で、特等、特等館に引き継ぎ展示として令和元年度特別展「矢島氏から石川氏へ伝承する『額装』の文化」を開催いたします。

東京家政学院大学同窓会「友誼会」の協賛で、特等、特等館に引き継ぎ展示として令和元年度特別展「矢島氏から石川氏へ伝承する『額装』の文化」を開催いたします。

東京家政学院大学同窓会「友誼会」の協賛で、特等、特等館に引き継ぎ展示として令和元年度特別展「矢島氏から石川氏へ伝承する『額装』の文化」を開催いたします。

展示 展示名	展示 展示名	展示 展示名	展示 展示名
1 額装の文化	2 額装の文化	3 額装の文化	4 額装の文化
5 額装の文化	6 額装の文化	7 額装の文化	8 額装の文化
9 額装の文化	10 額装の文化	11 額装の文化	12 額装の文化
13 額装の文化	14 額装の文化	15 額装の文化	16 額装の文化
17 額装の文化	18 額装の文化	19 額装の文化	20 額装の文化
21 額装の文化	22 額装の文化	23 額装の文化	24 額装の文化
25 額装の文化	26 額装の文化	27 額装の文化	28 額装の文化
29 額装の文化	30 額装の文化	31 額装の文化	32 額装の文化
33 額装の文化	34 額装の文化	35 額装の文化	36 額装の文化
37 額装の文化	38 額装の文化	39 額装の文化	40 額装の文化
41 額装の文化	42 額装の文化	43 額装の文化	44 額装の文化
45 額装の文化	46 額装の文化	47 額装の文化	48 額装の文化
49 額装の文化	50 額装の文化	51 額装の文化	52 額装の文化
53 額装の文化	54 額装の文化	55 額装の文化	56 額装の文化
57 額装の文化	58 額装の文化	59 額装の文化	60 額装の文化
61 額装の文化	62 額装の文化	63 額装の文化	64 額装の文化
65 額装の文化	66 額装の文化	67 額装の文化	68 額装の文化
69 額装の文化	70 額装の文化	71 額装の文化	72 額装の文化
73 額装の文化	74 額装の文化	75 額装の文化	76 額装の文化
77 額装の文化	78 額装の文化	79 額装の文化	80 額装の文化
81 額装の文化	82 額装の文化	83 額装の文化	84 額装の文化
85 額装の文化	86 額装の文化	87 額装の文化	88 額装の文化
89 額装の文化	90 額装の文化	91 額装の文化	92 額装の文化
93 額装の文化	94 額装の文化	95 額装の文化	96 額装の文化
97 額装の文化	98 額装の文化	99 額装の文化	100 額装の文化

写真2 チラシ裏

3. 展示構成

額装された書や大き目の表装作品を入口左側の壁面に掛け、表装作品と小さ目の額装作品を廊下側の壁面と展示ケースのガラス面に網をかけてそこに掛けることにし、陶器作品と刺繍は、展示ケースの中へ飾ることにした。作者それぞれの略歴パネルとセリフの吹き出しのような形式で作品制作の心構えパネルを置くことにした。

4. 展示作業

石川氏は作品を車で配送され、ご主人とともに作業された。矢島氏には作品を事前に宅配便で送ってもらい、ご本人が来館して作業された。刺繍作品については当館に任されたので、事前に宅配便で送っていただいてそれぞれの作品を配置していった。入口左側の壁面と窓側の展示ケース3台に網を掛けそこに表装と額装の作品を掛けた。廊下側の壁面には額装の小さ目の作品(写真4)を掛けた。屏風(写真3)はケースに入れないでベニヤ板を組み立てた展示台に布をかけてその上に置いた。網を掛けたケースから直角に展示ケースを2台置き、1台には網を掛けて額装作品を飾り、もう1台には陶器の作品を飾った。そのケースから直角に展示ケースを4台並べ、陶器の時計や食器(写真5)、アクセサリなどを並べた。展示室の中央に展示ケースを2台ずつ背中合わせに並べ、そこに刺繍作品(写真6)を飾った。その後は、パネルやキャプション類を配置した。



写真3 額装作品

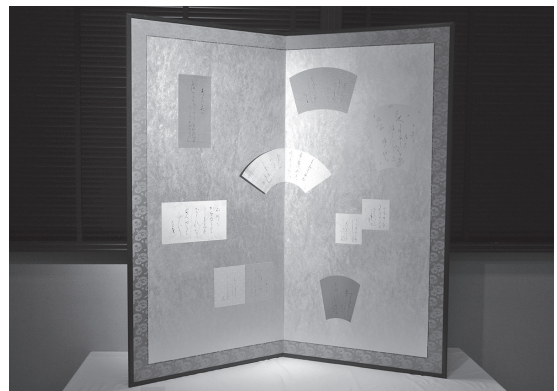


写真4 屏風に仕立てたかな書



写真5 食器と蓋付き時計



写真6 刺繍を施したブラウス

閉幕後、石川氏は来館され作品を持ち帰られた。刺繍作品は梱包し、宅配便で配送した。矢島氏は展示替え期間中には来館できないとのことだったので、こちらで一旦梱包し、保管した。来館の際に梱包状態を確認してもらい、宅配便で配送した。

矢島氏の作品の内、学生の見学者に人気のあった蓋付きの時計と黒猫と如雨露時計のセットは収蔵資料として購入した。

おわりに

今回も技術的にも美的にもレベルの高い作品を出展していただいた。会期中にはオープンキャンパスもあり、多彩な活躍をされている卒業生がいることを知っていただく機会となった。また、在校生にとっても今後の進路の参考になったのではないかと思う。

最後になりましたが、出展者および関係者のご協力に深く感謝申し上げます。

※展示資料リスト

番号	タイトル	年代	作者	寸法 (cm)
1	萬葉かな をかく 東京家政学院校歌	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦44.3×横55.8
2	萬葉かな をかく 歌 窪田空穂	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦196.0×横45.0
3	萬葉かな をかく 歌 額田王	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦147.8×横93
4	萬葉かな をかく 歌 藤原定家	平成26 (2014) 年	石川 直子	縦199.0×横45.2
5	萬葉かな をかく 新古今和歌集	平成30 (2018) 年	石川 直子	縦153.4×横153.4
6	萬葉かな をかく 歌 紀貫之	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦197×横45.4
7	萬葉かな をかく 歌 山崎京鑑	平成29 (2017) 年	石川 直子	縦197.0×横46.6
8	萬葉かな をかく 歌 小野小町	平成27 (2015) 年	石川 直子	縦42.0×横32.8
9	萬葉かな をかく 歌 藤原俊成	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦42.4×横33.3
10	萬葉かな をかく 歌 猿丸大夫	平成26 (2014) 年	石川 直子	縦44.4×横41.8
11	萬葉かな をかく 歌 紫式部	平成28 (2016) 年	石川 直子	縦42.8×横54.4
12	萬葉かな をかく 上皇美智子様御製歌	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦34.3×横28.3
13	萬葉かな をかく 歌 道元	平成30 (2018) 年	石川 直子	縦39.3×横48.5
14	萬葉かな をかく 歌 古泉千樞	令和元 (2019) 年	石川 直子	縦44.4×横24.4
1	クッション	平成30 (2018) 年	高野 靖子	縦28.0×横28.5×厚さ10.0
2	クッション	平成30 (2018) 年	高橋 順子	縦29.5×横29.0×厚さ11.0
3	リングピロー	平成30 (2018) 年	相宮 慧子	縦15.0×横15.0×厚さ6.0
4	リングピロー	平成30 (2018) 年	相宮 慧子	縦15.0×横15.0×厚さ6.0
5	リングピロー	平成30 (2018) 年	香取 恵子	縦15.0×横15.0×厚さ6.5
6	ナブキン	平成30 (2018) 年	高橋 順子	縦45.0×横44.0
7	サンブラー	平成30 (2018) 年	古畑 弥生	縦46.0×横37.0
8	テーブルクロス	平成30 (2018) 年	高野 朋子	縦24.5×横109.0
9	ブラウス (2点セット)	平成30 (2018) 年	相宮 慧子	ブラウス：肩幅39.0×身幅50.0×着丈54.5×袖丈47.5×桁丈68.5、 タンクトップ：身幅42.0×着丈53.0

1	ウェルカムキューブ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦12.5×横12.5×高さ12.5
2-A	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦14.5×幅18.5×奥行2.0
2-B	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦14.5×幅18.5×奥行2.0
2-C	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦15.0×幅20.5×奥行2.0
2-D	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦15.0×幅18.0×奥行2.0
2-E	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦15.0×幅18.5×奥行2.0
2-F	空模様 時計	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦13.0×幅18.0×奥行2.0
3	板皿	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦2.0×幅31.0×奥行16.0
4-A	つながうつわ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦6.0×幅17.5×奥行17.5
4-B	つながうつわ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦6.5×幅17.5×奥行17.5
5	庭にて	令和元（2019）年	矢島 幸代	猫：縦22.5×幅11.0奥行1.5、 じょうろ：縦8.0×幅9.5奥行2.0
6-A	時間をしまって	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦4.3×幅10.5×奥行10.5
6-B	時間をしまって	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦4.3×幅10.5×奥行10.5
6-C	時間をしまって	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦4.3×幅10.5×奥行10.5
7-A	ネックレス	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.5×幅3.0×奥行3.0（ヘッド）
7-B	ネックレス	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.5×幅3.0×奥行3.0（ヘッド）
8	チョーカー	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅14.0×奥行18.0
9-A	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅2.3×奥行5.5
9-B	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅4.5×奥行4.6
9-C	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅5.0×奥行3.8
9-D	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅6.8×奥行2.6
9-E	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅4.5×奥行4.3
9-F	ブローチ	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅7.0×奥行2.5
10-A	ネックレス	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.7×幅11.0×奥行18.0
10-B	ネックレス	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.3×幅4.0×奥行2.0（ヘッド）
11-A	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅7.0×奥行6.5
11-B	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅7.0×奥行6.5
11-C	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦2.0×幅3.5×奥行3.5
11-D	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅4.0×奥行3.8
11-E	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦1.0×幅1.3×奥行1.3
11-F	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.7×幅3.8×奥行3.2
11-G	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.7×幅3.8×奥行3.2
11-H	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.7×幅3.8×奥行3.2
11-I	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.7×幅4.5×奥行4.5
11-J	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.5×幅3.0×奥行3.0
11-K	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.5×幅2.0×奥行2.0
11-M	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.3×幅4.0×奥行4.0
11-L	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.3×幅6.0×奥行6.0
11-N	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.3×幅2.5×奥行2.5
11-O	陶ボタン	令和元（2019）年	矢島 幸代	縦0.3×幅2.5×奥行2.5